



## 重要情報シート（個別商品編）

### 1. 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています。）

金融商品の名称・種類	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）
組成会社（運用会社）	日興アセットマネジメント株式会社
販売委託元	日興アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主として、日本を含む世界各国の株式、不動産投信（REIT）および債券などを実質的な投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方。
パッケージ化の有無	当商品は複数のファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズ（FoFs）ですが、投資先のファンドを個別に購入できない場合があります。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

#### 想定される質問事項

- ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

### 2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に株式、不動産投信、株価指数先物取引および国債先物取引にかかる権利を実質的な投資対象としますので、株式、不動産投信、株価指数先物取引および国債先物取引にかかる権利の価格の下落や、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【デリバティブリスク】【レバレッジリスク】 ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
〔参考〕過去1年間の収益率	37.6%（2021年3月末現在）
〔参考〕過去5年間の収益率	平均10.2% 最低-7.4%（2020年3月） 最高37.6%（2021年3月） （2016年4月～2021年3月の各月末における直近1年間の数字） ただし、当ファンドは直近1年間の収益率が5年分ないため、設定日以降算出できる値を使用。

損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

#### 想定される質問事項

- ④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

### 3. 費用（本商品の購入または保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	購入代金（購入口数×基準価額÷10,000）に以下の手数料率をかけた金額 1千万口未満 3.30%（税抜3.00%） 1千万口以上 2.20%（税抜2.00%）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	純資産総額に対し年率0.484%（税抜0.44%）程度が実質的な信託報酬となります。目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。） 監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用」に記載しています。

#### 想定される質問事項

- ⑥ 私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

## 重要情報シート（個別商品編）

### 4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

当ファンドは無期限です。ただし、繰上償還することがあります。

この商品はお客さまが換金・解約しようとする場合には、換金手数料および信託財産留保額はかかりません。

ファンドの規模および商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。

詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「お申込みメモ」に記載しています。

想定される質問事項 ⑧ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

### 5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客さまがこの商品を販売した場合、当社は、お客さまが支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、委託会社から年率0.22%（税込み）の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。

当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。

当社の営業社員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価される場合はありません。

利益相反の内容とその対処方針については「お客さま本位の業務」【営方針】の「利益相反の適切な管理」をご参照ください。

<https://www.secjp.co.jp/corporate/policy/fiduciary/>

想定される質問事項 ⑨ あなたの会社が高得手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

### 6. 租税の概要（NISA、つみたてNISAの対象か否かもご確認ください）

分配時 : 配当所得として課税（普通分配金に対して20.315%）

換金（解約）時及び償還時 : 譲渡所得として課税（換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%）

個人投資家の場合、分配時および換金時・償還時に、上記の通り所得税および地方税がかかる場合があります。なお、NISA（ニーサ）をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

当社での取扱い

NISA : ○

つみたてNISA : ×

詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「税金」に記載しています。

### 7. その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

販売会社（当社）が作成した「目論見書補完書面」（PDF）

<https://www.secjp.co.jp/service/net/terms/clause/fund.pdf>

運用会社が作成した「投資信託説明書（交付目論見書）」（PDF）

<https://www.nikkoam.com/api/reports/prospectus?fundcode=944432>

**契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「目論見書補完書面」、金融商品の内容等を記した「投資信託説明書（交付目論見書）」については、ご希望があれば紙でお渡します。**